

かたしなの生涯学習・人権教育だより

第5号 平成25年2月

片品村では、今年度より文科省委託（人権教育総合推進地域事業）を受け、人権教育を推進しています。各学校の取組の様子を紹介致します。

片品村社会教育委員
片品村教育委員会

あいさつ運動(片品中)

片品中学校では、生徒会活動の1つとして、あいさつ運動に取り組んでいます。毎朝の登校時間帯に、クラス、委員会や部活動別に班編制しているあいさつ当番が玄関前に立ち、登校してくる生徒に朝のあいさつをしています。保護者の方々にも、PTA家庭教育部の方が中心となって全家庭に参加していただいています。あいさつから、人との触れ合いを大切にする気持ちを培っています。



人権集中学習での取組:一人1標語(片品小)

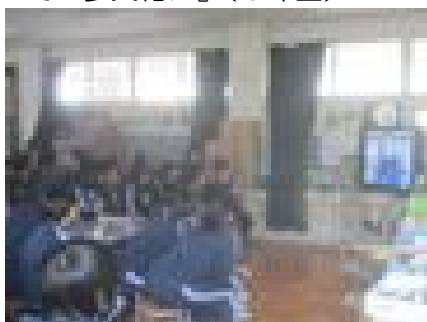
「大切にしよう!自分も友達も」をスローガンに、期間中に児童全員が「人権標語」を考えました。その中から選ばれた学年の代表作品をみんなで復唱し、実践を誓い、朝礼で標語を発表しました。



人権集中学習(片品中)

11月30日(金)に、人権教育集中学習で、人権作文発表、ビデオの試聴、レッドリボンの作成、人権標語の作成を行いました。どの生徒も人権について真剣に考える様子が見られました。人権標語の代表作品を紹介します。

- 『大丈夫? その一言に ありがとう』(1年生)
- 『不思議だな みんなといると 笑顔になれる』(2年生)
- 『他文化を 理解し合って 多文化に』(3年生)



学校全体での人権教育の取組(片品北小)

人とのかかわりの中で、相手の立場に立った優しさや思いやりについて考える道徳の授業に取り組んでいます。授業参観で公開したり内容を保護者に紹介したりと、家庭への発信も行いました。帰りの会では、友達のいいところを紹介し合ったり、友達をほめる掲示板を設置し、よいところを見つけ合ったりする取り組みを行いました。お昼の放送では、全員が全校に向けて自己紹介スピーチをするなど、子どもが注目されたり活躍できたりする場面を、日常生活の中に意図的に増やし、色々な人とのかかわり合い体験を増やす取り組みを行っています。



各学年の人権教育に関する取組(片品小)

1年生: 保育園児との交流

「どんなことしたら、年長さんが楽しんでくれるかな」と真剣に考えて、いろいろ準備しました。当日は、いつもと違って、お兄さんお姉さんになって、園児と楽しい時間を過ごしました。「年長さんが喜んでくれてうれしかった」と、年長者らしい感想を述べていました。



2年生: 「言葉づかいを考えよう」の授業実践

3年生: アイマスク体験

4年生: 点字学習体験

5年生: 車いす体験

初めての車いす体験、とても苦戦していました。段差・スロープのところでは車いすに乗る人の大変さを実感できました。また、乗っている人を見かけ、大変そうだったら、声をかけて、助けてあげることが大事だということを学びました。



団活動と人権月間について(片品北小)

少人数の中で望ましい人間関係が築けるよう、1~6年生の縦割りで仲良く遊ぶ活動を行っています。各チームは6年生が中心になり、自主的に集まって活動しています。また児童会が中心になり、各クラス人権のスローガンを伝えながら、あいさつ運動も行いました。あいさつや返事など誰に対しても差別せず公正公平にふるまえる子どもたちを目指して取り組んでいます。



なかよし読書(片品南小)

児童同士の人間関係づくりの取組の一つとして、「なかよし読書」を行っています。「なかよし読書」では、月1回、火曜日の朝行事に、児童が読み聞かせをしています。一人が全体に読み聞かせをしたり、1対1で読み聞かせをしたりと、読み聞かせの形は様々です。12月までは、4年生から6年生が、1年生から3年生に読み聞かせをしました。読み聞かせを行う高学年の児童は、喜んで聞いてくれそうな本を選んだり、読む練習をしたりして、しっかり準備をすることができました。低学年の児童は、高学年のお兄さんお姉さんが読んでくれるのをとても楽しみにしていました。寄り添うようにしながら読み聞かせをする姿は、本当にほほえましく思いました。11月には、図書委員による「昼休みお話し会」を行いました。大型絵本を使っての読み聞かせは、迫力も感じられ、十分楽しむことができました。



なかよし集会・にこにこ集会・昔の遊び集会 (片品南小)

10月10日の「なかよし集会」では、地域のおじいさん、おばあさんに手ほどきを受けながら、グランドゴルフを楽しみました。10月31日の「にこにこ集会」では、地域の方に花咲の伝統行事に使う「わらでっぼう」の作り方を教えていただきました。11月20日の「昔の遊び集会」では、おじいさん、おばあさんから、こま回しや竹とんぼ、ビー玉などの昔の遊びを教えてくださいました。児童は、おじいさん、おばあさんの知恵や技に感心しながら、一緒に活動できるうれしさも感じていました。集会の後、一緒に楽しく話をしながら給食を食べることができ、終始、和やかな雰囲気につつまれていました。どの集会も、地域の方々とのふれあいながら、楽しいひとときを過ごすことができました。



人権学習会(武尊根小)

12月10日(月)の5時間目に、5名の人権擁護委員の方を招いて、人権学習会を行いました。「白い魚とサメの子」の読み聞かせをしてもらい、大切な命と、一人ひとりが幸せに生きる権利である「人権」について考えました。BGMと優しい語りで、子ども達もお話の世界に引き込まれていました。勇気やさしさが、みんなで仲良く暮らすために大切だと感



じることができたと思います。

また、「友達はいいもんだ」の手話を習い、みんなで楽しく歌いました。子ども達の中にある小さな人権の芽を、これからも大切に育てていきたいと思

人権標語(武尊根小)

人権週間で学んだことをもとに、親子で話し合い、全校児童で人権標語を作りました。

5・6年生の作品を紹介します。

「またひとつ 心にささった 矢が一本」
 「いっちゃダメ その言葉一つで きずつくよ」
 「あの子やだ それでもいじめは いけないよ」
 「その言葉 命にかかわる キケンな言葉」
 「暴言は 人を傷つけ 差別する」



人権問題に関する村民意識調査

◎調査結果の概要

片品村では、人権の尊重という観点から、女性、子どもたち、高齢者、障害のある人たち、同和問題など、学校・家庭・地域が連携した取組を通して、豊かな心を育む人権教育の推進を進めています。この度、人権課題への取組の一環として調査を実施しました。

○調査対象 片品村在住の20歳以上の男女約500人

○調査期間 平成24年7月～平成24年9月

○有効回収数 467人(有効回収率93%)

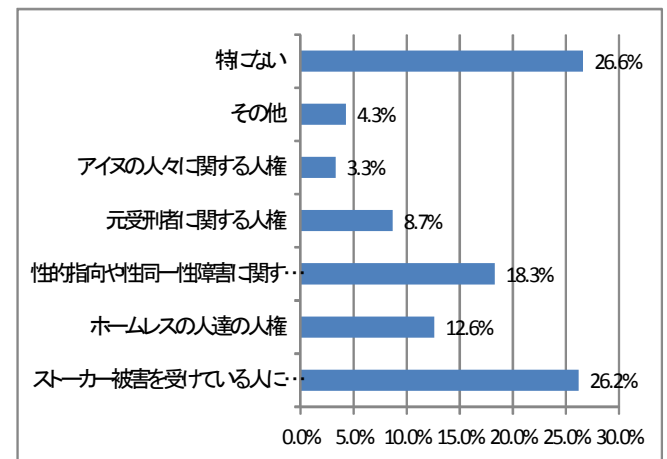
○グラフのみかた

・グラフ中の(n)は、その設問の回答者総数を表しています。調査結果の比率は、その設問の回答者総数(n)を基数として、小数点第2位を四捨五入して算出しています。

◎意識調査より抜粋

【その他の人権問題】

問25 これまでの人権問題のほかに、関心をもっている人権問題はありますか。(n=492)



その他の人権問題については「特につい」と感じる人が多くいます。社会の多様化にともなって発生する、さまざまな人権問題について考えていくことが大切です。